

## 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下68番地 津山文化センター内 名称 公益財団法人津山文化振興財団 代表者 理事長 浮田 佐平
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	73,798人 (前年度72,887人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業) 津山コスプレまつり、建物見学・対談会 ・年間稼働率95.29% (前年度94.20%)

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 44,495千円 (前年度45,708千円) 指定管理料 23,245千円 利用料金収入 20,721千円 その他の収入 529千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 35,993千円 (前年度39,802千円) 主な支出 人件費 15,419千円 光熱水費 4,382千円 修繕・消耗品費等 918千円 委託料 (施設管理費) 11,681千円 事業費 (自主事業) 320千円 負担金・公租公課 1,104千円 その他 2,169千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・建物は50年の歴史を感じさせ現在では表現できない良さがある。 ・エスカレーターかエレベーターの設備が欲しい。 ・駐輪場がない。 ・冷暖房の効きが悪い。 ・食事ができる場所がない。(喫茶コーナーを作ってほしい。)
(2) 指定管理者の自己評価	・施設見学など多様な事業を実施し、多くの市民に愛される開かれたホール作りを目指している。 ・技術提供はもちろん職員が積極的に施設利用についてのアドバイスを行っている。 ・今後は自主事業の更なる充実と若者層の集客力アップに取り組みたい。

<p>(3) 市の評価</p>	<p>津山文化センターは、竣工後 51 年が経過し、舞台関連の諸設備や施設について老朽化が進んでいるが、日々点検を行い補修を行っている。また、舞台の専門知識や経験に基づく適切なアドバイスや受付での丁寧な対応により、アンケートにおいても顧客満足度が高く、施設は老朽化しているものの、利用者数や稼働率は高い。これはスタッフの努力によるものと考えられる。なお、自主事業においては時流を捉えた事業を開催しているが、引き続き工夫を凝らした企画事業を複数展開することを期待する。</p>
-----------------	---